

授業概要

プラットフォームと言われるのは、略称でGAFAMと呼ばれるGoogle, Amazon, Facebook, Apple, Microsoftの米国系企業である。それぞれ情報技術を使った特色のあるビジネスにより、その影響力は大きく、プラットフォームを形成していることから、これらの企業のビジネスモデルをプラットフォームビジネスと呼んでいる。こうしたプラットフォームと言われるようになったのは、最近の話であり、共通点は、ITC（情報通信技術）を駆使して競争力のあるサービスを提供している。これらを学び日本経済にも影響があり、その良さを学ぶことは、意義にあることと考える。

授業計画

第 1 回	プラットフォームの意味と概要
第 2 回	プラットフォームの種類と主なプラットフォームの説明
第 3 回	プラットフォームの活用と課題
第 4 回	GAFAMの説明
第 5 回	AMAZONの分析
第 6 回	APPLEの分析
第 7 回	Googleの分析
第 8 回	Facebookの分析
第 9 回	MICROSOFTの分析
第 10 回	GAFAMのビジネスー1
第 11 回	GAFAMのビジネスー2
第 12 回	金融システムとプラットフォーム
第 13 回	世界のプラットフォームと日本の取り組み
第 14 回	これまでの学習内容のまとめ
第 15 回	内容理解のためのテスト
第 16 回	テスト結果と解説

到達目標

プラットフォームビジネスを十分に理解し、日本の企業と比較してその強さと問題点を把握することを到達目標とする。

履修上の注意

特になし。

予習・復習

事前に予習を行う。
授業後に復習や課題、レポートを提出すること。

評価方法

授業中の課題・レポート提出（30点）とテスト（70点）で評価する

テキスト

授業開始時に伝えます。